

科学研究費助成事業 研究成果報告書

平成 27 年 6 月 5 日現在

機関番号：15501

研究種目：基盤研究(C)

研究期間：2011～2014

課題番号：23520435

研究課題名(和文) 山口大学所蔵準漢籍の書誌学的研究と分類目録の作成

研究課題名(英文) A Study on old Japanese and Chinese books printed in Japan, and edited or annotated by Japanese possessors Yamaguchi University and the Creation of a Classified Index

研究代表者

根ヶ山 徹 (NEGAYAMA, Tohru)

山口大学・人文学部・教授

研究者番号：20218267

交付決定額(研究期間全体)：(直接経費) 3,400,000円

研究成果の概要(和文)：山口大学総合図書館・人文学部・経済学部東亜経済研究所・医学部図書館が所蔵する和刻本漢籍と準漢籍について、各部局の前身校である明倫館・周防国明倫館・越氏塾・山口高等商業学校・山口高等学校・山口師範学校から継承したもの、昭和24年5月に新制大学として発足して以降、徳山毛利棲息堂など聚書家の寄贈により収庫に帰したもの、その他、先覚の尽力によって意欲的に蓄積されたものを全面的に調査し、『山口大学所蔵和漢古典籍分類目録続』を完成させた。

研究成果の概要(英文)：The old Japanese and Chinese books printed in Japan, and edited or annotated by Japanese possessors Yamaguchi University in the General Library, in the Faculty of Humanities, in the Institute of East Asian Economic Affairs of the Faculty of Economics and in the Medical Library, were inherited from the predecessor schools of these departments: the Meirinkan, the Suokoku Meirinkan of the Hagi Mori Clan, as well as the Esshi-juku, Yamaguchi High School of Commerce, Yamaguchi Higher School and Yamaguchi Normal School. Since Yamaguchi University was founded under the New University System in May 1949, the collection has been furthermore extended by the Collections of Seisokudo of the Tokuyama Mori Clan and others. This collection which was actively accumulated by the efforts of the library pioneers has been thoroughly investigated and the results published as the "Classified Index of Japanese-Chinese Classical Books in the Yamaguchi University volume".

研究分野：中国文学

キーワード：中国文学 国文学 準漢籍 和刻本漢籍

1. 研究開始当初の背景

国立大学法人山口大学が所蔵する和漢古典籍は、藩政期以来三百余年にわたり、防長二州の最高学府において連綿と蔵書形成されてきたもの、各部局の前身校から継承したもの、昭和24年(1949)5月に新制大学として発足して以降、懇意ある聚書家の捐贈により山口大学の収庫に帰したもので、先覚の尽瘁により意欲的に蓄積されたものから成る。大要以下のごとくである。

享保4年(1719)、萩藩第五代藩主毛利吉元(1677-1731)が萩城内で開講した藩校明倫館、文久三年(1863)、藩庁の山口移転にともない上田鳳陽(1769-1853)の私塾山口講堂(後に山口講習堂)を改称して藩校に改めた周防国明倫館、河野養哲(1661-1727)が三田尻に開講した私塾越氏塾の旧蔵書の一部は、明治維新後、教育学部の前身である山口県師範学校を経て総合図書館に収蔵されている。

明治3年(1870)創設の県立山口中学校は、明治19年(1886)に官立山口高等中学校に改組、明治27年(1894)に官立山口高等学校(旧旧山高)と改称され、明治38年(1905)には官立山口高等商業学校に転換される。この官立山口高等商業学校が経済学部の前身である。高商旧蔵書は経済学部東亜経済研究所、及び総合図書館に収蔵されている。

大正8年(1919)に文部省令第十三号により設置された官立山口高等学校(再興山高)は人文学部の前身である。山高旧蔵書は総合図書館、及び人文学部に収蔵されている。

徳山藩毛利家旧蔵の棲息堂文庫は、徳山毛利家第三代毛利元次(1667-1719)の購求蒐書に係る膨大な典籍、その後の歴代藩侯によって蒐集された図書である。明治29年(1896)の宮内省図書寮への献上から省かれたものが、毛利就挙氏により昭和39年(1964)、同42年(1967)に文理学部に捐贈され、現在は総合図書館に収蔵されている。

明治10年(1877)、山口県教員養成所を改称して作られたのが山口県師範学校である。明治19年(1886)、師範学校令により山口県尋常師範学校に、大正3年(1914)には山口県山口師範学校に改称される。同年、熊毛郡室積町(現光市室積)に山口県室積師範学校が開校され、同校は大正9年(1920)、山口県女子師範学校と改称される。昭和18年(1943)、両校は統合され、それぞれ男子部、女子部に分かれて官立山口師範学校が設置された。

古浄瑠璃研究者の東洋大学教授若月紫蘭(1897-1962)旧蔵書は、昭和27年(1952)に農学部へ捐贈され、現在は総合図書館に収蔵されている。

社会学者の京城帝国大学教授・山口大学文理学部教授赤松智城(1886-1960)旧蔵書は、昭和29年(1954)に文理学部に捐贈され、現在は総合図書館に収蔵されている。

景山家文書、山根家文書、植物学者の山口

大学農学部教授日野巖(1898-1980)収集文書、江本家文書、枝村家文書といった庶民史料は、昭和33年(1958)から同36年(1961)にかけて農学部へ捐贈され、現在は総合図書館に収蔵されているが、ここにも古典籍が含まれている。

徳山藩医四熊宗直(1833-1908)旧蔵書は、昭和33年から同37年(1962)にかけて、山口県立医学専門学校眼科学教授浅山吾三(1907-82)旧蔵書は、昭和39年に山口県立医科大学附属図書館に捐贈され、その後、医学部分館に継承された。いずれも医書を中心とする。

人文学部には終始絶えることなく蒐集された漢籍が数多く収蔵されている。

上掲の古典籍の一部については、薙永秀夫『明倫館・山口明倫館・越氏塾旧蔵和漢書目録』(山口大学附属図書館, 1989), 『山口高等商業学校東亜関係図書目録』(山口高等商業学校, 1942), 『山口大学経済学部東亜経済研究所東亜関係蔵書目録』(山口大学経済学部, 1981), 『山口大学附属図書館所蔵若月紫蘭文庫目録』(山口大学附属図書館, 1961), 『山口大学文理学部赤松文庫図書目録』(山口大学附属図書館文理学部分館, 1954), 『山口大学附属図書館所蔵棲息堂文庫目録』(山口大学附属図書館, 1986)が備わる。しかしながら、いずれも専門家の手で編まれたものではなく、日本十進分類法に基づいて配列されており、誤謬や脱漏も少なくない。また、官立山口高等学校(再興山高)、及び人文学部蔵書については、本研究の計画当初は概要の把握さえ為されていない状況にあった。

2. 研究の目的

上述の経緯をふまえ、第一に、山口大学が収蔵する古典籍の全体像を明らかにすることにより、現在、全国規模で作成されつつある古典籍の各データベースにリンクすることが可能となり、本邦における和漢書の集積に寄与するものとなる。山口大学所蔵の和古書・漢籍を糾合した総合目録を編纂することにより、長らくその存在を忘れられてきた数千点にも及ぶ古典籍が、内外の研究者の利用に供されることになるのである。

第二に、山口大学の前身校から継承した蔵書群を総合的に把握することにより、藩政時代以来培われてきた山口の知的財産の水準について、客観的・具体的に把握することが可能となる。山口明倫館では和漢の諸学がいかなる体系を以て学ばれていたのか。徳山藩毛利家における学芸の特徴は何か。こうした疑問に十分に答えるためには、山口県文書館所蔵の文書類の活用や、毛利博物館・周南市美術博物館・宮内庁書陵部等の諸機関に分蔵される毛利家旧蔵書総体との比較が求められようが、本研究はその先蹤ともなり得るものである。

第三に、山口大学所蔵和漢古典籍のうち、特に稀覯本の精査は、日本文学・中国文学そ

それぞれの領域における新知見提出に寄与する可能性がある。一例をあげれば、旧制山口高等学校旧蔵国書中に含まれる室町末期写『源氏物語』は学会未紹介の一伝本であり、源語の伝本研究にとって有益な示唆を与える可能性を含むものである。また、棲息堂文庫や人文学部所蔵の漢籍には『塩梅記』をはじめとする稀観本が数多く見出される。

研究代表者は、既に「山口大学所蔵和漢古典籍の書誌学的研究と分類目録の作成」(研究種目：基盤研究(C)，研究期間：2008年～2010年，課題番号：20520331)の研究成果として、『山口大学所蔵和漢古典籍分類目録』を公刊している。しかしながら、所蔵部数が予想をはるかに超えたため、漢籍・和古書を収録するにとどまり、和刻本漢籍・準漢籍については調査に着手することすらできなかった。

3. 研究の方法

研究代表者は中国人編著書に邦人の注釈等が施された図書の調査、研究分担者は邦人が編集した漢籍の補遺・続編類の調査につき、それぞれ中心的役割を果たし、更に研究協力者を雇用して、データの採録、入力、分類、索引編纂に助力を仰いだ。

明治・大正期にしばしば校名を変更した各部局の前身校からの蔵書継承について明らかにするため、蔵書印についても調査した。

各校の蔵書印は以下のとおりである。

- ・県立山口中学校：「山口県中学章 Stamp of Chugaku. Yamaguchiken.」朱文楕円印，「山口県中学章 Seal of Chugaku. Yamaguchiken.」朱文方印，「山口県山口中学校図書之印」朱文方印
- ・官立山口高等中学校：「山口高等中学校図書之印」朱文方印
- ・官立山口高等学校：「山口高等学校図書之印」朱文方印
- ・官立山口高等商業学校：「山口高等商業学校図書之印」朱文方印
- ・山口県師範学校：「山口県師範学校」朱文方印
- ・山口県尋常師範学校：「山口県尋常師範学校之印」朱文方印
- ・山口県室積師範学校：「山口県室積師範学校印」朱文方印
- ・山口県女子師範学校：「山口県女子師範学校印」朱文方印，「山口県女子師範学校郷土室」朱文方印，「山口県女子師範学校記念文庫」朱文方印
- ・山口師範学校：「山口師範学校図書印」朱文方印，「山口師範学校生徒共有図書」朱文方印

4. 研究成果

(1) 4年間の調査研究に基づき、和刻本漢籍は『京都大学人文科学研究所漢籍目録』(同朋舎，1981)，『東京大学東洋文化研究所漢籍分類目録』(汲古書院，1981)及び『東京大学

総合図書館漢籍目録』(東京堂出版，1995)に準拠し、準漢籍については山本仁編『東京大学総合図書館準漢籍目録』(東京堂出版，2009)に準じ分類し、『山口大学所蔵和漢古典籍分類目録続』を完成させた。なお、漢籍・和古書の補遺も附録した。

(2) 『山口大学所蔵和漢古典籍分類目録』及び『山口大学所蔵和漢古典籍分類目録続』の作成を通して、山口大学の収蔵する古典籍の全容を見通すことができるようになったといえる。今回調査対象とした和刻本漢籍・準漢籍が一定の数量にのぼることは、漢籍と和古書のいわば中間に位置する典籍類が、藩政期以来、重要な知識基盤であったことを物語る。

(3) 今回の調査により、著名人の旧蔵書が数多く含まれていることが明らかになった。

【沢田一斎旧蔵書】

東亜経済研究所蔵(山口高等学校旧蔵)『晦菴先生語録類要』。「奚疑齋蔵書」の印がある。「奚疑齋」は、京都の書肆風月堂庄左衛門五代目、沢田一斎(1701-82)。一斎は本



奚疑齋蔵書

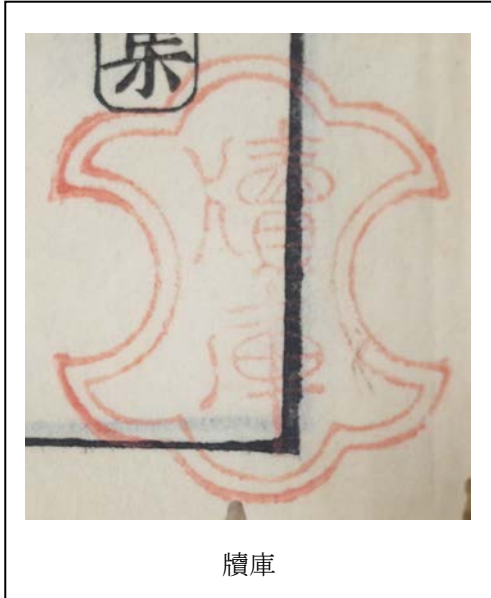


奚疑齋蔵書

業のかたわら朱子学・神道を修め、岡白駒とも交流があった。

【内藤露沾旧蔵書】

人文学部蔵『新編群書類要事林廣記』には、「牘庫」印がある。磐城平藩主内藤義概（俳号風虎）次男義英（俳号露沾，1655-1733）の旧蔵書。内藤風虎・露沾父子は江戸前期を代表する文事大名で、俳諧をよくした。壇上正孝「風虎内藤義概の生涯と文業」（『広島大学学校教育学部紀要』第2部，第22号，2000）の分類によれば，下記「牘庫」印はB-1印に該当し，露沾時代の収書と推測される。



牘庫

【西荘文庫旧蔵書】

人文学部蔵『読書録』及び人文学部蔵『人天眼目』には，外題に「西荘文庫」印がある。



『読書録』

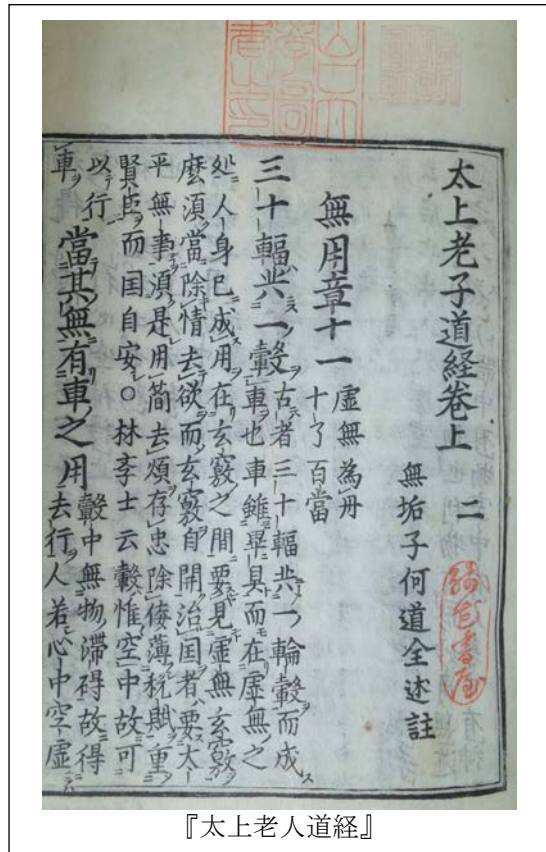
江戸時代後期に活躍した，松坂の富商にして蔵書家，小津桂窓（1804-58）の旧蔵書。西荘文庫の大半は天理図書館に収蔵されるが，稀観本の多いことで知られる。



『人天眼目』

【戸川残花旧蔵書】

人文学部蔵『太上老人道経』には，内題下に「残花書屋」の印がある。明治期の詩人・教育家戸川残花（1855-1924）のコレクション。



『太上老人道経』

【徳島藩主蜂須賀家の旧蔵書】

人文学部蔵『薛文清公従政名言』には、「阿波国文庫」の印がある。徳島藩主蜂須賀家の旧蔵書。

5. 主な発表論文等

(研究代表者、研究分担者及び連携研究者には下線)

[雑誌論文] (計 0 件)

[学会発表] (計 0 件)

[図書] (計 1 件)

①根ヶ山徹・尾崎千佳, 山口大学, 山口大学所蔵和漢古典籍分類目録続, 2015, 79 頁

[産業財産権]

○出願状況 (計 0 件)

名称:

発明者:

権利者:

種類:

番号:

出願年月日:

国内外の別:

○取得状況 (計 0 件)

名称:

発明者:

権利者:

種類:

番号:

出願年月日:

取得年月日:

国内外の別:

[その他]

ホームページ等

6. 研究組織

(1) 研究代表者

根ヶ山 徹 (NEGAYAMA, Tohru)

山口大学・人文学部・教授

研究者番号: 20218267

(2) 研究分担者

尾崎 千佳 (OZAKI, Chika)

山口大学・人文学部・准教授

研究者番号: 50335759